

東陽中学校区学校園から

西田保育園

当園は、平成30年4月に開園し、東陽中学校区の中では、現在一番新しい認可保育園です。定員は、60名で、各クラスは10名前後と規模は大きくありませんが、逆に家庭的な雰囲気を活かし、一人一人にしっかり向き合えるのが、当園の“良さ”ではないかと考えております。また室内のレイアウトとして、「遊ぶ部屋」、「ランチルーム」、「お昼寝の部屋」を独立して設けることにより、遊びの継続性を担保しています。このことにより、遊びが中途半端なもので終わらず、しっかり遊びに没頭し、満足できるように心がけていますので、子どもたちは自ら意欲的に活動しています。

園の保育方針としましては、「情操豊かな子」、「意欲のある子」という二つの子ども像を掲げ、これから先、子どもたちが大人になり、社会で活躍する未来を見据え、今の時代に必要な「生きる力」である非認知能力をしっかり育んでいけるよう、子どもたちの日々の生活の充実を目指して保育に取り組んでおります。

最後になりましたが、日頃より地域の皆様には温かく見守っていただき、園外に散歩に出かけた際には、よく声を掛けただくことがあります、色々と気に掛けていただき本当にありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願ひいたします。



はやおき保育園

本園は、地域の方々に支えられ、創立20周年を迎えました。現在0～5歳児の子どもたち104名が毎日元気に登園しています。しかし、昨年度よりコロナウイルス感染症拡大のため、ほとんどの行事が中止もしくは、縮小して行わざるを得ませんでした。令和2年の地域の行事「ふれあい運動会」「鬼祭り」等も中止となり、地域の方々との交流もできませんでしたが、そのような中でも子どもたちは、3密を避けながらクラスごとに園内の行事を楽しんでいます。早くコロナウイルス感染症が収束し穏やかな日常生活が戻ることを願っています。



曾根神社横の桜並木での
お花見

こいのぼりの下で、クラスごと
に楽しんだ子どもの日のつどい

住吉神社の春祭りに4.5歳児の
絵画を展示



第52号 人権だより



ぬくもり

令和4年2月15日
倉敷市東陽中学校区
人権学習推進委員会
事務局 茶屋町公民館
(TEL) 086-428-1315

児島 光 会長の挨拶



コロナ禍で生活様式が一変して、一年余りが過ぎました。人権学習推進委員会の各事業においても、総会は「書面表決」による承認、各種事業については中止、もしくは順延による日程の調整、規制による規模の縮小等、例年とは全く違う一年となりました。吉実公民館長をはじめ事務局の皆様には、その影響を受け、大変なご苦労をされたことと思います。ありがとうございます。

しかし、残念ですが、今年度の重点課題「地域に根ざしたふれあいとあいさつの輪をひろめよう」の活動目標は、この厳しい状況下では、満足できる展開にはできませんでした。

次年度はコロナ問題が落ち着いて、規制も緩和され、皆様とのふれ合い、かつ交流の場が自由にできる環境の下で、本会のテーマ「人にやさしいぬくもりのまちづくり」の活動が推進できることを願います。

これからも、地域皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

【東陽中学校区人権学習推進委員会】※順不同

一町内町内会	茶屋町東幼稚園	豊洲地区社会福祉協議会
二町内町内会	茶屋町西幼稚園	茶屋町学区コミュニティ協議会
三町内町内会	豊洲幼稚園	茶屋町学区栄養改善協議会
四町内町内会	茶屋町保育園	茶屋町学区交通安全対策協議会
五町内町内会	はやおき保育園	茶屋町学区愛育委員会
如蘭社町内会	ちゃや保育園	茶屋町学区子ども会育成会
共睦東町内会	豊洲保育園	茶屋町寿クラブ連合会
共睦中町内会	西田保育園	茶屋町交通安全母の会
共睦南町内会	茶屋町小学校	茶屋町民生児童委員協議会
共睦西一町内町内会	豊洲小学校	茶屋町主任児童委員
共睦西二町内町内会	東陽中学校	茶屋町地域安全推進員
早沖南部町内会	茶屋町東幼稚園PTA	豊洲学区交通安全対策協議会
早沖中部町内会	茶屋町西幼稚園PTA	豊洲学区愛育委員会
早沖北部町内会	豊洲幼稚園PTA	豊洲学区食育教室
帯江ハイツ自治会	茶屋町保育園保護者会	豊洲老人クラブ連合会
早高自治会	はやおき保育園保護者会	豊洲交通安全母の会
高須賀自治会	ちゃや保育園後援会	豊洲民生児童委員会
観音台自治会	豊洲保育園保護者会	豊洲主任児童委員
中帯江自治会	茶屋町小学校PTA	豊洲農業土木委員
五日市町内会	豊洲小学校PTA	豊洲地域安全推進員
西田自治会	東陽中学校PTA	東陽中学校区青少年を育てる会
つくば商工会	行政相談員	わかたけ会（茶屋町親子クラブ）
茶屋町地区社会福祉協議会	人権擁護委員	わんぱくクラブ（豊洲親子クラブ）

人権週間 令和3年12月4日～10日
児童・生徒による作品（ポスター・書道・標語）を展示しました



東陽中学校 人権宣言（いじめ撲滅宣言）

3-1	一人ひとりの個性を尊重し、みんなが笑顔で学年で1番楽しいクラスにします!!
3-2	「いじり」は「いじめ」、嫌な思いをする人がいない、個人を尊重し合えるクラスにする。
3-3	我慢なんてしなくていい、強がらなくていい、全員が安心できるクラスにする。
3-4	「いじめを減らす」ではなく、元から「0」に。
3-5	いじめのない、個性豊かな、楽しいクラスにします。
3-6	みんなが個性を認め合い、よりよい学校生活を送れるようにする。
3-7	個性を大切にし、境界線のないクラス。
3-8	個人の力を認め合い、いじめが起こらない雰囲気をつくる。
9組	仲よく、お互い高め合い、信頼しよう。
10組	元気いっぱい笑顔になれるクラスを目指します！
11組	学年 男女 関係なく、人の気持ちを第一に考える。
12組	広い心で 受け入れられる ウルトラやさしい人間になろう。

東陽中学校では、人権集会（参加体験型学習、ハンセン病について学習したことの成果発表、人権作文の朗読等）を行ない、人権に対する認識を深めています。

人権相談・行政相談 お気軽にご相談ください

茶屋町支所にて
毎月第2水曜日 9:00～11:00

人権教育講演会『西日本豪雨を振り返る』
～ 地域で助け合って地区防災計画に取り組もう～

香川大学 地域強靭化研究センター特命准教授 磯打 千雅子 氏 令和3年11月27日（土）

<講演の概要>

【南海トラフ沖地震】
100年から150年周期で起きる。
もし地震があると50cmから3mの浸水や液状化現象が起きる可能性がある。

【地区防災計画の策定】
東日本大震災の教訓から創設された。
地区防災活動の継続が重要である。

【極端な気象現象の増加】
平成30年の西日本豪雨災害。
マイ避難先を考えよう。

【大事なこと】
避難すること。備えること。
お互いの背を押しあうこと。

今後いつ起こるか分からない災害（地震・水害等）に対して、どう向き合っていけばよいかについて、過去の事例を参考に分かりやすくお話し下さいたいて良かった。

茶屋町での具体的な被害と逃げる場所の無い地区という実態がショックであった。①早くから避難すること、②普段から避難への備えを考えておくことが大切だと分かった。

地域のつながりの形成の必要性を痛感した。



<参加者のご感想>（抜粋）

災害はいつ起こるか分からないと思いながら、でもどこかで大丈夫と思っているところがあるのは、比較的安全な街に住んでいるという甘い気持ちがあるせいだと感じた。

正しく恐れながら、日頃から備えていく大切さを再認識しました。それも遠いどこかの話ではなく、「茶屋町」というこの街を基準にした話を具体的にしてくださったことが、とても身近で“自分事”としてとらえて受けとめることができた。とても良い勉強の機会を与えていただき感謝しています。

また、“おやこ手帳”も備えを考えるために有効な資料なので活用したいです。

<防災おやこ手帳>
マイ避難先を考えよう！

